



菱沼あゆ美 議員 (公明党)

## 防災力を向上させる 各種対策の推進を

答弁…大地震に備え防災力の向上に努める

**問** 地震に備えて自宅を安全な場所とするために、家の耐震化と家具の転倒防止が重要である。対策促進のために、家具転倒防止の費用補助を行ってはどうか。また、避難所のトイレ対策は衛生面が課題となる。トイレトレーラーを導入してはどうか。

**答** 各家庭での家具転倒防止対策の補助は行っていないが、大地震に備えた自助の取組として、広報紙や出前講座等で周知を図る。トイレトレーラーは、購入費用や維持管理の経費等が必要であり、導入は難しい。引き続き避難所のトイレ環境の整備を進めていく。



君津市の災害用トレーラー

### 健康 子宮頸がんの検診と 予防接種の推進は

答弁…検診は慎重に、予防接種は再勧奨を行う

**問** 子宮頸がん検診を現状の2年ごとの細胞診から、5年ごとのHPV（ヒトパピローマウイルス）検査のみの単独検診にしてはどうか。予防ワクチンの最終期間のキャッチアップ接種対象者に、機会を逃さないように再度周知をすべきではないか。

**答** HPV検査単独法は、メリットもあるが、医療関係者から時期尚早との意見があることから、医師会や関係機関と調整しながら慎重に判断する。HPV予防接種は、未接種や途中の方に対して時期を捉えた個別通知での勧奨を再度行っていく。



細井藤夫 議員 (WAKABA)

## 大山地域の自然を教育に

答弁…大山地域の魅力を引き続き学習していく

**問** 柴山沼は、「白岡市の宝」であり、沼での学習は郷土白岡を知ることだけでなく、近隣市町と比べても絶好の環境で自然学習を行える利点がある。実地での学習活動は、大山小学校で行われているが、他の小中学校でも行ってはどうか。

**答** 社会科副読本「しらおか」等を活用し、自分たちが住んでいる本市の様子を学習している。校外学習で近くを通るときは、柴山伏越や柴山沼を見学する機会を設けており、今後も、様々な機会を捉え、大山地域の歴史や魅力に触れる機会を設けていく。



柴山沼での鯉のぼり事業

### 観光 サイクリング観光都市への施策を

答弁…市に合ったサイクリング事業を研究する

**問** 本市は、東西に長く、それぞれ駅からの距離はあるが、平たんな場所が多い地形である。観光移動用に貸自転車を活用することで、観光が発展する可能性がある。交通の便の改善に貸自転車を活用して「サイクリング観光都市」を目指してはどうか。

**答** 貸出自転車の保管場所が狭いことや、自転車専用道路の整備の進捗状況などからも、現在のところ、サイクリング観光都市としての事業展開は難しい状況である。今後は、先進地の取組など情報収集に努めながら、市に合ったサイクリング事業を研究していく。